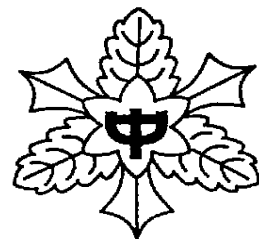


年間指導計画と評価の観点

第2学年

- 国語科
- 社会科
- 数学科
- 理 科
- 英語科
- 音楽科
- 美術科
- 保健体育科
- 技術・家庭科



本校の観点別評価「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に取り組む態度」の割合は、全教科1：1：1となります。

令和7年度 国語科 2 学年 年間指導計画

月	時数	単元(教材)	学習内容	指導の工夫点
4	1 1 2 6	授業開き／名づけられた葉 虹の足 いろいろな立場や考えを踏まえる タオル	●詩を読み、内容や表現の仕方について理解する。 ●必要な情報を得るための質問の仕方を考える。 ●描写の効果や登場人物の言動の意味に着目する。 ●文学的表現や語感を磨き、語彙を豊かにする。 ●少年の気持ちを気持ちの変化を捉える。	少人数での話し合い
5	2 6 3 2	活用のない自立語 新聞の投書を書く 書写 まちがえやすい漢字	●名詞、連体詞、接続詞、感動詞、副詞の働きを知る。 ●多様な方法で材料を集める。 ●正しい字形で漢字を書く。	
6	3 4 3 2 3	日本の花火の楽しみ 水の山 富士山 課題を設定して伝える 敬語 手紙・メールを整える	●説明の仕方という観点に着目して読む。 ●図や写真と文章とを関連づけながら読む。 ●話の構成を効果的に組み立てる。 ●敬語の働きについて知る。 ●相手に対して適切な言葉を選ぶ。	
7	3 1 2 2 1	夢を跳ぶ 書き言葉と話し言葉 相違点を明確にして聞く SNSから自由になるために 漢字の成り立ち	●自分の課題をみつけ情報の中から適切に選ぶ。 ●特徴を捉える。 ●集めた情報を整理して活用する。 ●さまざまな文章を構成する情報を整理して、特徴を理解する。 ●漢字の成り立ちを理解する。	
9	3 5 3 2	持続可能な未来を創るために 紙の建築 構成を明確にして説明文を書く 活用のある自立語	●課題を共有する ●事例の役割や効果を確認しながら読む ●表現の仕方を工夫して、物語を創作する。 ●用言の活用と種類・用法を理解する。	
10	4 3 3 3	敦盛の最期 随筆の味わい 二千五百年前からのメッセージ 坊ちゃん	●登場人物の言動や心情について話し合う。 ●文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。 ●古人のものの見方に対して、自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉え、筆者の思いを想像する。 ●音読や暗唱することを通して、漢文の表現に慣れる。 ●わが国を代表する作家とその作品にふれ、感想をもつ。	少人数での話し合い
11	3 6 1 2	短歌の味わい 夏の葬列 書写 漢字の多義性	●情景や心情を掘り起こし声に出して読む。 ●人物の描写やその役割について理解する。 ●多義性について理解する。	
12	5 4 4	ガイアの知性 確かな根拠をもとに意見文を書く 書写	●筆者の用いる語句の意味を捉える。 ●情報をわかりやすく伝えるようにする。 ●漢字の行書と仮名を調和させて書く。	
1	6 3 2	学ぶ力 さまざまな考えを踏まえ討論をする 付属語のいろいろ	●筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけ て自分の考えをまとめる。 ●付属語について知る。	

2	2 8	豚 走れメロス	●詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を想像する。 ●登場人物の語りについて理解し、読み味わう。	
3	1 2 1 1	類義語、対義語、多義語、同音語 連作ショートショートを書く。 同音の漢字 映像作品の表現を考える	●日常生活で使う言葉に気をつける。 ●表現したい内容を考え、語彙を豊かにする。 ●同音の漢字についての理解を深める。 ●構成する情報を整理し、描写の違いを理解する。	

令和7年度 国語科 2 学年 評価計画

観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識 技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	言葉の意味を適切に理解し、使うことができる。 語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。	・ノート ・漢字テスト ・音読テスト ・提出物 ・定期考査
思考 判 断 表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	作品を通して作者の考えを捉え、自分の考えをまとめることができる。 わかりやすく伝わるように、文章の構成を工夫することができる。	・ノート（自分の考えを述べることができる。） ・スピーチ ・発言 ・聞き取りテスト ・グループ討議（自分の意見と他の人の意見を比べ発展させることができる。） 作文（論理の展開や話の構成を工夫することができる。）
主体的に 学習に取り 組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使用している。	積極的に発言し進んで学習課題に取り組むことができる。	・ノート ・ワークシート ・音読カード ・定期考査 ・発言 ・授業態度
《補足》ノート・ワークシートなどに自分の意見や感想、他の人の意見などをまとめたり、記録したりすることで考えを整理したり深めたりする。 学習した語句や漢字を作文において適切に使うことができる。			

令和7年度 社会科 2学年 指導計画

八王子市立ひよどり山中学校

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1学期 4	5	【歴史的分野】 幕藩体制の確立	幕藩体制の確立と江戸幕府による対外政策のようす	・教科書や資料集をきちんと開かせるとともに、記載されている各種資料の読み取りを行う。
	5	天下泰平の世の中	身分制度下の人々の暮らしと諸産業のようす	
	5	社会の変化と幕府の対策	貨幣経済の広まりと幕府が行った諸改革	
	6	近代国家の歩みと国際社会	市民革命を通したヨーロッパ諸国の大きな変化 アメリカ合衆国の建国・列強と化したヨーロッパ諸国	・地図帳の活用
	6～7	開国と江戸幕府の終わり	江戸時代末期・開国から尊王攘夷そして倒幕へ	・ICT機器を活用した調査活動や画像などの資料提示
	7	明治維新と近代化の始まり	明治時代前期・富国強兵への道	・昨今の社会情勢などを示した新聞記事などの活用
	7	近代国家への歩み	諸外国とのかかわりと近代国家の建設のようす	
2学期 8～9	6	【歴史的分野】 帝国主義と日本	日清・日露戦争と日本の列強化	・教科書や資料集をきちんと開かせるとともに、記載されている各種資料の読み取りを行う。
	9	アジアの強国の光と影	日本の産業革命のようすと人々の暮らし	
	9～10	【地理的分野】 身近な地域の調査と日本の地形 気候・自然災害そして人口問題 (郷土八王子との関連を含む)	テーマを決めて調査計画を立てて地域を調査 地形図から地域のようすを掴む	・地図帳の活用
	10～11	日本の地域的特色	日本の地形・自然環境・人口・諸産業などの特徴	・ICT機器を活用した調査活動や画像などの資料提示
	11	九州地方	九州地方の全体像・地形・文化などの特徴 環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし	・昨今の社会情勢などを示した新聞記事などの活用
	11～12	中国・四国地方	中国・四国地方の全体像・地形・文化などの特徴 都市と農村の変化と人々の暮らし	
	12	近畿地方	近畿地方の全体像・地形・文化などの特徴 歴史の中で形づくられた人々の暮らし	
3学期 1	5	【地理的分野】 中部地方	中部地方の全体像・地形・文化などの特徴 活発な産業を支える人々の暮らし	・教科書や資料集をきちんと開かせるとともに、記載されている各種資料の読み取りを行う。
	1～2	関東地方	関東地方の全体像・地形・文化などの特徴とさまざまな地域と結びつく人々の暮らし(振り返り探究活動を実施)	・地図帳の活用
	2	東北地方	東北地方の全体像・地形・文化などの特徴 伝統的な生活文化と災害を教訓にした人々の暮らし	・ICT機器を活用した調査活動や画像などの資料提示
	2～3	北海道地方	北海道地方の全体像・地形・文化などの特徴 雄大な自然とともに生きる人々の暮らし	・昨今の社会情勢などを示した新聞記事などの活用
	3	地域の在り方	持続可能な社会を目指すための地域の在り方の考察	

評価計画

評価の観 点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	【地理的分野】 日本の各地域の様子について基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、日本の各地域の自然環境や経済状況など違いを写真や映像資料、雨温図、その他の資料から読み取る。	【地理的分野】 日本の各地域ごとの様子を大まかに把握し、必要な知識を身につけるとともに、写真や映像資料、雨温図などから、日本の各地域ごとの自然環境や経済状況などの違いを読み取っている。	・定期考査 ・プリントの記入内容 ・白地図の記入内容 ・毎回の授業ごとに記入したチェックシートの記入内容 ・ワークブックの取り組み
	【歴史的分野】 近世～近代の日本や世界で起きた歴史的事象について、基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、近世～近代の歴史的事象について、写真や映像資料、統計資料などから読み取る。	【歴史的分野】 近世～近代の各時代の歴史的事象を大まかに把握し、必要な知識を身につけるとともに、写真や映像資料、統計資料などから、近世～近代の歴史的事象の特徴を読み取っている。	
思考・判断・表現	【地理的分野】 日本の各地域ごとの近年における変化の実態を、写真や統計資料などから考察し、追究そして解決しようとしている。	【地理的分野】 日本の各地域ごとの近年における変化について各種資料などを用いて考察し、追究そして解決しようとするとともに、キーワードをなる語句を使って説明している。	・定期考査 ・授業や探究活動での発表 ・ワークシートに記入した感想の内容
	【歴史的分野】 近世～近代の各時代ごとのできごとの背景について、写真や統計資料などから考察そして追究する。	【歴史的分野】 各時代ごとのできごとに潜む背景を、各種資料などを用いて考察し、追究しようとするとともに、キーワードとなる語句を使って説明している。	
主体的に学習に取り組む態度	【地理的分野】 世界的な視野から、多面的・多角的に日本の各地方や 47 都道府県のようすについて関心をもつ。	【地理的分野】 日本各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・定期考査 ・授業に対する取組み (授業態度・発言内容等の授業内評価)
	【歴史的分野】 近世～近代の日本や世界で起きた歴史的事象について関心をもつとともに、自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもつ。	【歴史的分野】 各時代の特徴についての歴史的事象に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・チェックシートの記入内容 ・各種提出物の内容

- ※学習のアドバイス(授業・家庭学習への取り組み・学習方法・課題への取り組みの例)
- ・授業規律(授業遅刻しない・忘れ物をしない・私語等をしない・タブレットの使い方)を守る。
 - ・授業中は集中して話を聞き、プリントへの記入をしっかり行う。
 - ・授業の「学び」を確かなものにするため、授業のふり返しを行う。
- (授業内に終わらなければ、家庭学習で行ってもよい)
- ・家庭学習では、授業で学んだ内容(プリント・教科書を中心に読み返すなど)の復習を推奨。

令和7年度 数学科 2学年 指導計画

八王子市立ひよどり山中学校

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1学期	7	1章 式の計算	1 節 式の計算	机間指導による個別対応
	3		2 節 文字式の利用	
	2		章末問題	
	7	2章 連立方程式	1 節 連立方程式	生徒自身で、数学的な考えを発表する場を多く設定し、考えを共有し深める。
	4		2 節 連立方程式の利用	
	2		章末問題	
	11	3章 一次関数	1 節 一次関数とグラフ	
2学期	3		2 節 一次関数と方程式	机間指導による個別対応
	4		3 節 一次関数の利用	グループ学習などにおいて、学び合い学習の場を多く設定する。
	2		章末問題	
	10		1 節 平行と合同	生徒自身で、数学的な考えを発表する場を多く設定し、考えを共有し深める。
	4	4章 図形の調べ方	2 節 証明	
	2		章末問題	
	7		1 節 三角形	
	10	5章 図形の性質と証明	2 節 四角形	
	2		章末問題	
3学期	7	6章 場合の数と確率	1 節 場合の数と確率	机間指導による個別対応
	1		章末問題	グループ学習などにおいて、学び合い学習の場を多く設定する。
	6	7章 箱ひげ図とデータの活用	1 節 箱ひげ図	
期	1		章末問題	生徒自身で、数学的な考えを発表する場を多く設定し、考えを共有し深める。

合計95時間（予備時数 10時間） 【年間標準時数】105

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	・数量を文字式で表すことや式を変形して考えることの意味、連立方程式及びその解の意味を理解する。 ・一次関数の意味や特徴を理解する。 ・事象の中のいろいろな関数があることを知る。 ・いろいろな図形の性質を理解する。 ・確率の求め方を理解する。 ・単項式や多項式の計算を理解する。 ・連立方程式を解く。 ・1次関数では式で表したり、グラフで表したりする。 ・1次関数の式やグラフに表して処理することができる。 ・角についての性質が成り立つことを説明することができる。 ・円周角の定理を使って問題を処理することができる。 ・合同条件を使って証明することができる。 ・確率を求めることができる。	・数量を文字式で表すことや式を変形して考えることの意味、連立方程式及びその解の意味を理解することができる。 ・一次関数の意味や特徴を理解することができる。 ・1次関数の意味を理解する。 ・図形に関する定義や定理、用語や記号の意味を理解する。 ・平行線の性質や多角形の角の性質を理解する。 ・確率、同様に確からしいなどの意味を理解する。 ・単項式や多項式の計算を理解する。連立方程式を解くことができる。 ・1次関数では式で表したり、グラフで表したりすることができる。 ・1次関数において、式から表をつくったり、表からグラフをかいたりできる。 ・多角形の角や平行線と角の大きさを求めることができる。 ・三角形の合同条件を利用して図形の性質を証明することができる。 ・円周角と中心角の間の関係を使って、角度を求めることができる。 ・樹形図や表を用いて、事象の確率を求めることができる。	定期考査 小テスト 授業
	思考・判断・表現	・文字を用いた式や連立方程式の考え方や見通しを持って論理的に考察する。相互に変化する2つの数量関係を関数としてとらえる。 ・2つの数量関係を関数としてとらえることができる。 ・図形の性質を予想したり、考察したりすることができる ・場合の数や確率の考えを用いて、事象を考察することができる。	
主体的に学習に取り組む態度	・文字を用いた式や連立方程式の計算、連立方程式を用いて問題を意欲的に解く。 ・2つの事象を一次関数として捉え、それを使って事象を意欲的に解く。 ・2つの数量関係を調べ、考察することに関心を持てる。 ・平面図形のいろいろな性質に関心を持ち、調べようとする。 ・身の回りにある確率の例を見出したり、いろいろな事象考えたりしようとする。	・文字を用いた式や連立方程式の計算や連立方程式を用いて問題を意欲的に解くことができる。 ・2つの事象を一次関数として捉え、それを使って事象を意欲的に解くことが出来る。 ・1次関数の変化や対応の特徴を進んで調べようとする。 ・合同な図形に関心を持ち、それらを調べようとする。 ・身のまわりの事象についての確率を進んで考えようとする。	授業まとめシート
			授業への取り組み 課題・発表など

※学習のアドバイス(授業・家庭学習への取り組み・学習方法・課題への取り組みの例)

- ・授業のあった日に必ず復習をする。
 - 学習した内容を思い出す。無理ならノートを見る。授業で学習した問題をやり直す。
- ・何が分かればよいか、どうすればよいか、根拠を明確にし、説明できるような学習をする。人に説明する機会を多く作り、理解を深める。
- ・普段の生活と数学の学習を関連させる。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学期	33	【生命】 生物の体のつくりと はたらき	1 章 生物の体をつくるもの 2 章 植物の体のつくりとはたらき 3 章 動物の体のつくりとはたらき 4 章 動物の行動のしくみ	・実験、観察、学び合い 活動などでの班活動を行 う。
	12	【地球】 地球の大気と 天気の変化	1 章 地球を取り巻く大気 のようす	・実験レポートの活用 を行い、エクセルデータ などを用いたデータ分 析・表現を行う。
2 学期	40	【物質】 化学変化と 原子・分子	1 章 物質のなりたち 2 章 物質の表し方 3 章 さまざまな化学変化 4 章 化学変化と物質の質 量 探究活動	・ICT機器を活用して、 画像や動画などの資料 を提示する。 ・観察活動では、一人 ずつが観察に取り組め るような環境・設備を 整える。
	15	【地球】 地球の大気と 天気の変化	2 章 大気中の水の変化 3 章 天気の変化と大気 の働き	・実技テストの実施 (電流計・電圧計・顕 微鏡などの実験器具)
3 学期	30	【エネルギー】 電流とその利用	1 章 電流と磁界 2 章 電流の性質 3 章 電流の正体	・単元学習終了時に小 テストを行う
	10	【地球】 地球の大気と 天気の変化	4 章 大気の動きと日本 の四季 探究活動	

評価計画

評価の 観 点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・ 技能	自然の事物・現象について の基本的な概念や原理・法則 などを理解しているとともに、 科学的に探究するために必要 な観察、実験などに関する基 本操作や記録などの基本的な 技能を身に付けている。	化学変化や生物の体のつくり と働き、電流と磁界に関する 事物・現象、気象要素と天気 の変化について、日常生活や 社会と関連付けながら、理解 しているとともに、それらの 観察、実験などに関する技能 を身に付けている。	・授業プリントの記述 ・定期考査 ・小テスト ・実験器具の実技テスト ・実験、観察の様子
思考・ 判断・ 表現	自然の事物・現象から問題 を見だし、見通しをもって観 察、実験などを行い、得られ た結果を分析して解・し、表 現するなど、科学的に探究し ている。	化学変化や身近な植物や動 物の体のつくりと働き、電流 ・磁界に関する現象、気象と その変化について、見通しを もって解決する方法を立案し て観察、実験などを行い、日 常生活と関連付けてその結果 を分析して解釈し、規則性や 関係性、量的な関係を見だし て表現している。	・授業プリントの記述 ・定期考査 ・レポート提出 ・授業への取り組みの 様子
主体的 に学習 に 取り組 む態度	自然の事物・現象に進んで 関わり、見通しをもったり、 振り返ったりするなど、科学 的に探究しようとしている。	化学変化や生物の体のつくり と働き、電流と磁界に関する 事物・現象、気象要素と天気 の変化に進んで関わり、見通 しをもったり振り返ったりす るなど、科学的に探究しよ うとしている。	・授業プリントの記述 ・ワーク完全学習などの 課題 ・授業への取り組みの 様子 ・出席の状況 ・探究学習の発表やス ライド作成などの様子

- ※学習のアドバイス(授業・家庭学習への取り組み・学習方法・課題への取り組みの例)
- ・実験や観察の器具や手順をよく理解しましょう。そして安全に取り組みましょう。
 - ・章や単元が終わったら、プリントや完全学習を使って復習しましょう。
 - ・問題を解いてみて分からないことは友達や先生に質問をしたり、調べたりしてみてください。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
4	10	Lesson 1	未来の表現	*年間を通して、授業の始めに、スピーキング活動や単語練習、文法の復習などの帯活動を実施し、4技能をバランス良く向上させることを意識する。
	1	Take Action! Listen	空港でのアナウンス	
5	10	Lesson 2	博物館でのイベント	*Lesson ごとにパフォーマンステストや単元別テストなどを実施し、単元の復習を行う。
	1	Small talk	接 続 詞 (when, if, that, because)	
6	4	Goal Activity	お気に入りの本は	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Take Action! Listen	おすすめの日本語	
7	10	Lesson 3	コンサートのお知らせ	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Small talk	買い物	
9	4	Goal Activity	不定詞(to+動詞の原形)	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Take Action! Listen	将来したいこと	
10	5	Project 1	「捨てないパン」ができるまで	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	4	Reading Lesson	ボイスメッセージ	
11	10	Lesson 4	スピーチ「My Dream」	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Small talk	The Tale of Peter Rabbit	
12	4	Goal Activity	There is、動名詞	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Take Action! Listen	地球のためにしていること	
1	10	Lesson 5	身の回りの環境問題	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Small talk	ラジオニュース	
2	4	Goal Activity	話し合い	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Take Action! Listen	レストランのメニュー	
3	10	Lesson 6	町のおすすめの場所	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Take Action! Talk	町の地域や魅力について	
4	4	Read	説明する	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	10	Lesson 7	オンラインショッピング	
5	4	Goal Activity	比較級・最上級	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	4	Project	モナの日本の思い出	
6	10	Lesson 8	人気のあるもの調査	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Small talk	現在完了形(継続)	
7	4	Goal Activity	お土産	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Take Action! Listen	おすすめのお土産を教える	
8	10	Lesson 9	冒険家のインタビュー	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Take Action! Talk	話し合い	
9	4	Goal Activity	現在完了形(完了、経験)	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	3	Project	英語落語家のインタビュー	
10	10	Lesson 10	好きなもの観光マップ	*定期考査ごとにノートとワークを回収し、家庭学習の取り組みや学習の工夫などを確認する。
	1	Small talk		

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料	割合%
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	・教科書の内容や関連する文化を理解する。 ・単語や文法事項を正しく理解する力を育成する。 ・相手の意図することを正しく理解する力を育成する。	・ 定期考査 ・ 単元別テスト ・ スペリングコンテスト ・ 単語テスト ・ パフォーマンステスト ・ スピーチ ・ 小テスト など	1対
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	会話やスピーチ活動を通して、英語で表現できる力を育成する。	・ 定期考査 ・ 単元別テスト ・ スピーチ ・ パフォーマンステスト ・ リスニング など	1対
主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしようとしている。	自分で工夫して活動に取り組むこと姿勢や難しいことにも粘り強く取り組む態度を育成する。	・ 授業の取り組み方 ・ 定期考査 ・ スピーキング活動 ・ 課題、ノート、ワークシートなどの取り組み方 など	1対

令和7年度 音楽科 2学年音楽指導計画

ハ王子市立ひよどり山中学校

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学 期	随時	発声および楽典（「音（休）符・楽譜の見方復習」	《歌唱》 ・発声の基礎を学び、歌唱に活かす。 ・混声合唱のパートの役割を知り、表現を工夫しながら歌う。 ・パート練習を通して、互いに協力し、助言し合いながら取り組む。 ・楽譜の読み取りに必要な楽典を学習し、表現に活かす力をつける。 ・指揮の役割と基本的な振り方を学ぶ。 《鑑賞》 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて学習し、音楽の良さや美しさを味わう。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考える。	《学習記録カードの活用》 毎時の目標と自己評価の記入 《グループ活動》 ・合唱パート別による活動。リーダーを中心に練習する。 ・楽典を継続して行い、互いに確認し合う。 《プリントの活用》 ・歌唱や楽典、鑑賞の知識を確認するために活用する。 《実技テストの実施》 ・リズム、歌唱などのテストを行う。
	3	歌唱「サンタルチア」 「夏の思い出」		
	3	歌唱（混声3部合唱） 「時の旅人」 （課題曲） 鑑賞 「フーガ ト短調」 鑑賞 オペラ「アイダ」		
	2	合唱コン（自由曲）		
	2			
	3	合唱コン（自由曲）のレポート		
	夏の課題			
2 学 期	6	合唱コンクールへ向けて （課題曲・自由曲）	《歌唱》 ・発声の基礎を学び、歌唱に活かす。 ・混声合唱のパートの役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う。 ・パート練習を通して、互いに協力し、助言し合いながら合唱曲を仕上げる。 ・楽譜の読み取りに必要な楽典を学習し、表現に活かす力をつける。 《器楽》 ・アルトリコーダーで、様々な奏法を知り、曲の中で活用しながらアンサンブルを行う。 《鑑賞》 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて学習し、音楽がどのような役割を担っているのかを考察する	《学習記録カードの活用》 毎時の目標と自己評価の記入 《グループ活動》 ・合唱パート別による活動。リーダーを中心に練習する。 ・楽典を継続して行い、表現するための思いや意図を持つ。 《プリントの活用》 ・楽典の知識を確認するために繰り返し活用する。 《実技テストの実施》 ・合唱曲のまとめとしてテストを行う。
	随時	発声および楽典		
	4	器楽 （アルトリコーダー）		
	3	鑑賞「交響曲第5番」		
3 学 期	2	創作「リズム・旋律」	《歌唱》 ・発声の基礎を学び、歌唱に活かす。 ・混声合唱のパートの役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う。 ・パート練習を通して、互いに協力し、助言し合いながら取り組む。 ・楽譜の読み取りに必要な楽典を学習し、表現に活かしていく。 《器楽》 ・アルトリコーダーで、基本的な奏法ができるように学習する。様々な奏法を知り、曲の中で活用していく。 《鑑賞》 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を他の芸術と関連づけて学習し、音楽の良さや美しさを味わう。	《学習記録カードの活用》 毎時の目標と自己評価の記入 《グループ活動》 ・合唱パート別による活動。リーダーを中心に練習する。 ・楽典の知識の確認のカルタを行う。互いに確認し合う。 《プリントの活用》 ・楽典の知識を確認するために繰り返し活用する。 《実技テストの実施》 ・箏、リコーダー学習のまとめとしてテストを行う。
	4	器楽 （アルトリコーダー） （箏）		
	2	鑑賞 日本の伝統 芸能「歌舞伎」		
3 学 期	1	歌唱「荒城の月」		
	随時	卒業式に向けて		

評価計画

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料	割合
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・曲想と音楽の構造とその関わりを理解する。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解する。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解する。 ・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解する。	・ 定期テスト ・ 実技テスト ・ ワークシートの内容	1 — 3
思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、表現の創意工夫をしている。	・曲や演奏に対する評価とその根拠について考える。 ・生活や社会における音楽の意味や役割について考える。 ・音楽表現の共通性や固有性について考える。 ・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	・ 授業及び練習態度 ・ 定期テスト ・ 実技テスト ・ 課題への取り組み内容 ・ ワークシートの内容	1 — 3
主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・歌唱では、歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいを感じとり、旋律と言葉との関係に関心をもつ。 ・鑑賞、創作では、音色や音の重なり方等の違いによる音楽が生み出す雰囲気や表情の変化に関心をもつ。 ・器楽では、楽器の構造や奏法による音色等の違いに関心をもつ。 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・ 授業及び練習態度 ・ 出席の状況 ・ 遅刻・忘れ物の回数 ・ 課題への取り組み内容 ・ ワークシート提出及び内容	1 — 3

※学習のアドバイス

- ・授業規律（授業遅刻・忘れ物・私語等をなくす）を守る。
- ・授業に集中し、目標を持って取り組む。
- ・特に実技に関しては、失敗を恐れずに、積極的に粘り強く、継続して取り組む。
- ・わからないことは自ら確認する（しっかり発言し、意思表示をする）。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学 期	1	導入	1 ガイダンス (1) 心の表現としての美術 <u>鑑賞教育</u>	楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度の育成。
	4	鑑賞	・絵画から読み取る作家の心【情モ】 ・絵画から読み取る画家の心、メッセージ。	シャガール「私と村」を題材に導く。 (目標の提示) 自然や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じとる鑑賞の能力を育成。
	随時		(1) 心の表現までの道のり ・岡本太郎(明日の神話)等、教科書より 2 実技(アートグラス) テーマ:「おすぶ」 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊に発想し構想する能力や基礎的技能を身に付け、多様な表現方法や造形要素に関心をもち、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。	→(教科書、資料集を利用した解説→各自プリントにまとめていく) <u>実技</u> →表現の基礎 (デッサン) (構図の基礎) 絵画の基礎となる視点について解説を行う。
7月 ↓ 10月		絵画(アートグラス) スクラッチ工芸	1 実技<スクラッチ絵画・着彩> 「アートグラス」 *コンセプト→「自分へのプレゼント」	(スクラッチの基礎) ・ニードルの使い方
2 学 期	随時	鑑賞	2 鑑賞<友達の作品を鑑賞しよう>	・鑑賞→互いの作品、表現のよさ個性の尊重
	6~7	木彫(鎌倉彫りの基礎)	3 実技<木彫> 「鎌倉彫:木彫壁かざり」 * テーマ:植物→構成の仕方。 * トレーシングによる転写。 * 刃物の作りと安全な扱い方。 * 彫刻刀の扱い方と安全な管理。 * 片切彫りの基礎。	・日本の伝統工芸に学ぶ日本のすばらしさ。 ・刃物の安全な扱い方 ・自然を観察する目と心の育成 ・木彫(鎌倉彫)の基礎の習得
	1~2 1~2 1	転写技法 片切彫りの基礎 刃物の安全な使用法		
	5	木彫の仕上げ	* サンドペーパーによる仕上げ	・サンドペーパーNo 等について解説。
3 学 期	6	木彫(塗装の基礎)	* 仕上げと塗装(準備と片付け) * 塗料の性質の理解(エコ)	主体的に造形的な美しさなどを総合的に考えて下絵を考えさせる。
	1	鑑賞	鑑賞<おおり展・都展・校内作品展> * 友達や先輩の作品に学ぼう	日本の伝統文様【オリパラ】

評価の観 点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	・美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じとる鑑賞の能力を持ち、生活を美しく豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めたりしている。	・観察したことや考えたことを基にして、表し方の工夫をして構成することができる。	<u>鉛筆による素描</u> ・画面構成の基礎 ・色彩構成の基礎 ・鉛筆の使い方(明度表現) ・自由課題の提出 など ・文章から読み取れる情景の表現 <u>定期考査</u> ・実技テスト(プリント等) ・筆記テスト「鑑賞」 ・鑑賞レポート ・作品制作 ・提出物 など
	・感性や想像力を働かせ、自然や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じとる鑑賞の能力を持ち、生活を美しく豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めたりしている。	・表現意図に応じて、材料や用途の特性、生かしなどを総合的に考え、表現方法を選択し工夫して主体的に表すことができる。	
思考・判断・表現	・感性や想像力を働かせて、自然や身の回りのものの良さや美しさなどを深く感じ取ることができ、想像力を働かせ、それを豊かに広げることができる。	・いきいきと美しく表す構想を練ることができる。	・授業態度(資料収集) ・取り組み態度 ・作品制作 ・文章から読み取れる情景の表現 ・実技テスト(プリント等) ・提出物 など
	・感性や想像力を働かせて、自分の姿を深く見つめ感じ取ったこと、考えたことなどを基に、主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。	・自然や造形作品などの良さを深く味わうことができ、美術と人間との関わりに関心をもち、主体的に鑑賞することができる。	
主体的に学習に取り組む態度	・美術に興味関心を持ち、心の表現としての美術、絵画から読み取れる画家の心、メッセージを伸びやかな発送をもって感じ取ろうとしている。 ・ ・楽しく美術の活動に取り組む美術を愛好する心情と、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を持っている。 ・	・美術に興味関心を持ち、心の表現としての美術、絵画から読み取れる画家の心やメッセージを伸びやかな発送をもって感じとれる感性を身につけさせる。	・授業態度・取り組み姿勢 ・出席の状況 ・遅刻・忘れ物の状況 ・提出物(内容・技術習得) ・定期考査への取り組み ・美術館鑑賞等(自由課題) ・授業プリント作成における取り組み姿勢

※学習のアドバイス(授業・家庭学習への取り組み・学習方法・課題への取り組みの例)

・授業規律をしっかり守る。

・意欲的に取り組む。資料収集や、授業で学んだ内容の実践(美術館訪問等)

・振り返りを行う。資料集での事後確認。

・鑑賞プリントを活用して復習をする。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
Ⅰ 学 期	11	体づくり運動 体力測定	体ほぐしの運動 体力を高める運動 ラジオ体操 集団行動など ※心と体の関係に気付く 課題に応じた活動を選ぶ スポーツテスト 50m走 持久走 反復横跳び 立ち幅跳び 長座体前屈 握力 上体起こし ハンドボール投げ	学習カードの活用 自己評価・次回の課題の確認
	13	陸上競技	短距離走 リレー競技 など ※クラウチングスタート、滑らかな動き、リズムカルな動き リレー：バトンパス 走り幅跳び など。	グループ別活動 種目別・グループ別による活動。互いに教えあう。
	9	水泳	クロール・平泳ぎ・背泳ぎの基本練習、記録測定 など ※手足の動き、呼吸、速く泳ぐ、長く泳ぐ	
	3	体育理論	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	学習ノートの活用 学習ノートでまとめをする
2 学 期	9	球技	ベースボール型 ※キャッチボール・ティーバッティング等	学習カードの活用 自己評価・次回の課題の確認
	9	器械運動	マット運動 跳び箱運動 ※滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技 術を身に付け、回転系や技巧系や切り返し系や回転系の技を組み合わせる	グループ別活動 種目別・グループ別による活動。互いに教えあう。
	9	ダンス	リズムダンス・創作ダンス・フォークダンス など ※リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせでリズムに乗って踊る	
	9	武道	基本動作の受け身と固め技、投げ技 など ※正しい受け身の取り方、固め技、崩し方、投げ技等	
			ネット型 ※ゲームを楽しく行うための基本技術の習得 オーバーパス・アンダーパス・サーブ等	
3 学 期	5	保健	傷害の防止	学習ノートの活用 学習ノートでまとめをする
	9	球技	ゴール型 ※ゲームを楽しく行うための基本技術の習得 パス・シュート・トラップ等。	学習カードの活用 自己評価・次回の課題の確認
	8	陸上競技	長距離走 ※ベース走を取り入れたレベティショントレーニング	グループ別活動 種目別・グループ別による活動。互いに教えあう。
	11	保健	傷害の防止 健康な生活と疾病の予防②	学習ノートの活用

評価計画

評価の観 点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料	割合
知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	運動の特性や合理的な実践、日常生活・生涯における運動の意義を理解し、知識を身に付けさせる。 運動の楽しさや喜び、できたときの達成感を味あわせるために必要な、技能や体力を高めるための適切な行い方を身に付けさせる。	実技テスト 測定記録 試合の中の動き 期末考査（筆記テスト） 学習カードの内容 ゲームの取り組み	1/3
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	自己の能力に適した運動の課題解決を目指して活動の仕方を考え、工夫させるとともに他者に伝える力をつけさせる。 健康・安全について科学的に思考・判断し他者に伝える力をつけさせる。	練習への取り組み方 学習カードの内容 実技テスト ゲームの取り組み ノートの内容	1/3
主体的に 態度 に取り組む	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとする意欲を育てる。 自主的に運動を実施し、運動の楽しさや喜びを体得させ、日常生活・生涯において、健康・安全に関心をもたせ、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。	授業に取り組む姿勢（安全を考慮した身だしなみ、準備運動への取り組み等） 練習への取り組み姿勢（自己の課題に粘り強く取り組む、仲間と協力する等） 学習カードの記入内容 ノートの内容	1/3

※学習のアドバイス

- ・授業規律（授業時間の厳守・服装など授業準備をする・話を聞く姿勢等）をしっかりと守る。
- ・安全に留意し、各種の運動の特性を考え意欲的に取り組む。
- ・学習カードで各単元の運動の練習計画を立てる、振り返りを行う。
- ・保健分野では、保健資料ノートを活用して復習をする。

令和7年度 技術科 2学年 指導計画 八王子市立ひよどり山中学校

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
学 期 2 学 期 期	7	エネルギーの変換と利用 (ポケットライトの製作)	・エネルギー変換について知ろう ・電気を作る仕組みを知ろう ・電気を供給する仕組みを知ろう ・電気回路について考えよう	・ワークシートの活用 ・エネルギー変換効率の向上は、社会的・環境的・経済的な側面についても大きな影響を与えることに気づかせる。 ・発電と送電、電気の安定供給について関連性を知らせ、節電と省エネにつなげることを考えさせる。 ・実生活で事故防止できるようにさせる。
	8	製作品の設計・製作 (発電式ラジオの製作)	・機械の運動の種類とエネルギー変換についてまとめる。 ・機械を安全に利用するために保守点検が必要であることを知る。	・プリントの活用 ・安全な暮らしのために役立つ製品を考えさせる。省エネルギーなどに配慮して設計・製作をしようとさせる。製作品の調整や、電気回路の配線および回路計などを用いた点検をさせる。 ・適切な工具の使い方をさせ、組み立て、調整、点検を行わせる。
	5	生物を育てる技術の特徴 (しいたけの栽培)	1 生物を育てる技術について知ろう 2 植物を育てる技術を知ろう 3 動物を育てる技術を知ろう 4 水産生物を育てる技術を知ろう	・ワークシートの活用 ・気象環境、土壌環境、生物環境の3つの環境に整理して考えさせる。 ・家畜化した動物を健康に育てるためには、人間が環境を管理する必要がある、その管理技術にはどのようなものがあるのかを知らせる。 ・養殖と増殖の違いを伝え、それぞれの目的、利点や課題なども調べさせる。
3 学 期	8	双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう	・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考える。 ・問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。 ┌ 構想の具体化 ├ 情報処理の手順の整理 └ 必要な機能の整理 ・使用する人のことを考えてプログラムを制作する。	・コンテンツに利用されているメディアの例とその特徴を整理させる ・利用者の立場を意識し、メディアの特徴を生かして、利用しやすい構成になるように考えさせる。 ・著作権や個人情報の扱いなど情報モラルの重要性を考えながら制作させる。

評価計画

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関りについて理解している。	- 生物育成、情報、エネルギー変換に関する技術に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付け、技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。 - 生物育成、情報、エネルギー変換に関する技術を適切に活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	- 定期考査 - レポートの内容 - 製作品の丁寧さ・綺麗さ - 工具の取り扱い方 - 安全への取り組み
思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生物育成、情報、エネルギー変換に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見付けるとともに、その解決のために工夫し創造して、技術の評価し活用している。	- 定期考査 - 授業評価シートの内容 - 製作品の丁寧さ・綺麗さ - 工具・道具の取り扱い - 安全への取り組み - レポートの内容
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	生物育成、情報、エネルギー変換に関する技術について関心をもち、技術の在り方や活用の仕方等に関する課題解決のために、主体的に技術を評価し活用しようとする。	- 定期考査 - 授業態度 - 授業評価シートの内容 - レポートの内容 - プリントの内容 - ノート

※学習のアドバイス

・作業・実習では、「安全第一」で行います。しっかりと先生の話聞き、上手にできるコツをつかみ、けがなく安全で楽しい作業・実習となるように取り組みましょう。

※家庭科に関しては、教員不在のため、年間指導計画を作成できません。